

5.11

会員事業所をサポートする緊急応援事業を強化

神戸商工会議所 定例記者会見

当商工会議所は、定例の記者会見を開催し、新型コロナウイルス感染拡大による地元経済への影響調査結果と商工会議所が新たに取り組む会員企業向け支援策を発表した。

家次会頭は、「緊急事態宣言下、地元企業はかつてない窮地にある。4月の緊急調査では、9割弱の企業が影響被害を受けており、迅速な資金繰り支援や休業補償が必要。融資や給付金の実行スピードを求めたい」と言及。その上で、商工会議所3支部の特別相談窓口における融資や補助金などの支援状況について説明した。

また、5月11日から「新型コロナに負けない！特設サイト」をリニューアルし、緊急応援事業や行政の支援策など情報発信を強化することを発表。

3月に先行スタートした「緊急販売プロジェクト」では、在庫を抱えるメーカーや宅配に取り組む飲食業などの商品・サービスを紹介しており、今後、メディアとも連携したPRに取り組む。

さらに、休業を余儀なくされ、特に深刻な影響を受ける飲食・サービス店をサポートするため「未来チケット応援



プロジェクト」をスタートし、先払いの応援資金を募る。

今後、コロナ関連商材やテレワーク関連商材のビジネスマッチングや、換気の悪い密閉空間の改善を支援するシミュレーション事業なども随時展開していく（詳細については、8頁をご覧ください）。

最後に、家次会頭は、「会員企業にとって相当苦しい時期だが、事業を継続させ、雇用を守るために力を合わせて頑張っていきたい」と強調した。

総務部企画広報チーム

4.2~7

会員事業所の新入社員教育を支援

KCCIビジネススクール新入社員セミナー



会員事業所の新入社員教育を支援するため4月2日から7日にかけて社会人のマナー、電話対応のテクニック、コミュニケーションの取り方など、実務で役立つスキルの習得を目指した新入社員セミナーを3コース開催し、延べ244人が受講した。今回は、新型コロナウイルス感染症対策のためマスク着用や座席間隔の確保、教室の換気など講じた上で実施した。

2日・3日の「電話対応とビジネスマナー講座」では、新入社員の多くが苦手意識を持つ敬語の使い方などを説明した上で電話や来客対応の方法、接遇マナーについて解説。6日・7日の「報・連・相とビジネスコミュニケーション講



座」では、「社会人は、上司・同僚、顧客の立場を理解しコミュニケーションをとる必要がある」とし、新入社員が失敗しがちな事例とその解決法をロールプレイングで学んだ。

セミナー終了後は人事担当者へ提出する受講レポートを作成。「報告、連絡、相談のタイミングを考え実行したい」「疑問点を放置せず常に質問する姿勢を持ちたい」など社会人としての決意の声が寄せられた。

当商工会議所では、今後も階層別セミナー、分野別セミナーなどを通じ会員事業所の人材育成を支援していく。

会員事業部人材開発チーム